

中国四国地区

アーカイブズ
第10回 ウィーク



文書館

動物記

書庫に棲む動物たち

2015
6.2 火 → 6.6 土 7 日

中国四国地区アーカイブズウィークは、
文書記録（アーカイブズ）の重要性とその保存利用をPRするため、
中国四国地区の文書館・公文書館施設が共同して毎年実施している事業です。

〈主催〉山口県文書館

〈共催〉山口県文化財愛護協会

〈後援〉全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、山口県地方史学会

もん じょ かん
山口県文書館

開館時間／火曜～日曜 9:00～17:00

閉館日／月曜日、祝日、月末整理日、年末年始、資料点検期間

〒753-0083 山口市後河原150-1

TEL (083) 924-2116 FAX (083) 924-2117

<http://ymonjo.ysn21.jp/>

第10回中国四国地区アーカイブズウィーク

文書館 動物記

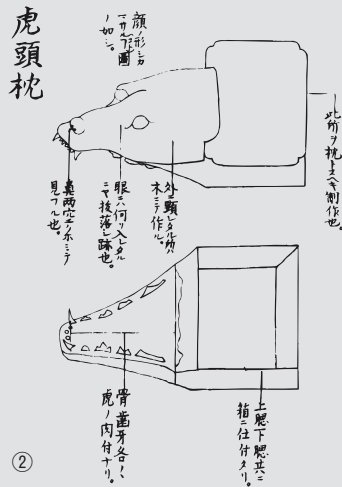
書庫に棲む動物たち

2015
6.2_火→6.6_土 7_日

動物たちは、歴史の中でどのように人々と関わり、
また人々は動物たちに関して、
どのような記録を残しているのでしょうか。
山口県文書館の五〇万点を超える資料の中には、
そのような「人間と動物」の関係を
垣間見ることのできる、
興味深いものが多数含まれています。
今年のアーカイブズウィークでは、
それらの一端をご紹介します。



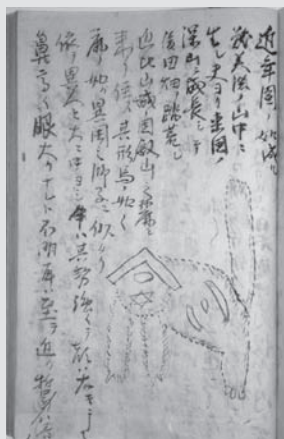
①



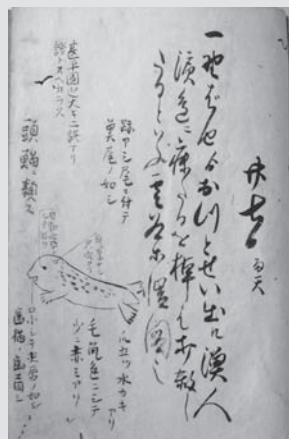
②



③



④

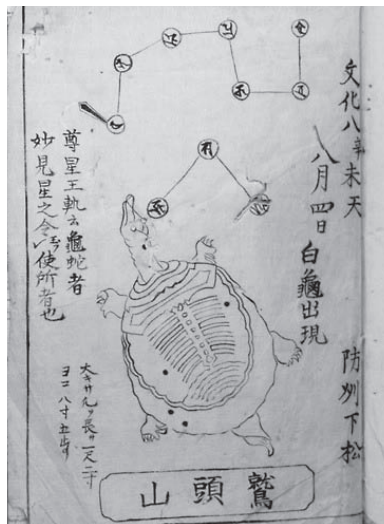


⑤



⑥

- ① ネズミ駆除の指導者用手引き
(行政資料1960年代各種団体405)
- ② 「虎頭枕」(「防長古器考 有図25」)
堅田内記広範家に伝来したもの
- ③ 「浦日記」(毛利家文庫71藩臣日記2)
天保12(1841)年6月16日条
皆既月食の日に岩国に現れたという怪獣
- ④ 「諸所風説書」(毛利家文庫29風説5)
京都守護職として入京した松平容保が
怪獣の姿で風刺的に描かれている
- ⑤ 「密局日乗」(毛利家文庫19日記19)
寛政3(1791)年3月27日条
前大津宰判三隅村野波瀬で目撃された
「おつとせい」の記事
- ⑥ 愛犬に登録と狂犬病予防注射を促す
山口県のポスター(ポスター1950-1)



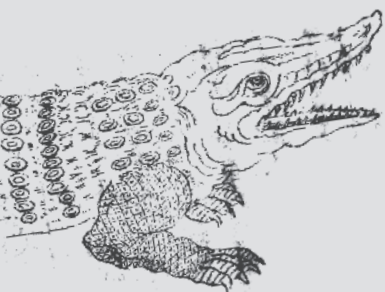
大内氏と亀

大内氏は妙見（北辰）を厚く信仰したことから、北辰の象徴としての「玄武」（亀蛇）を、とりわけ大切にしました。上の「降松妙見社縁起写」（多賀社文庫434）では、「亀蛇者妙見星之令使玉ヲ所者也」と記されています。



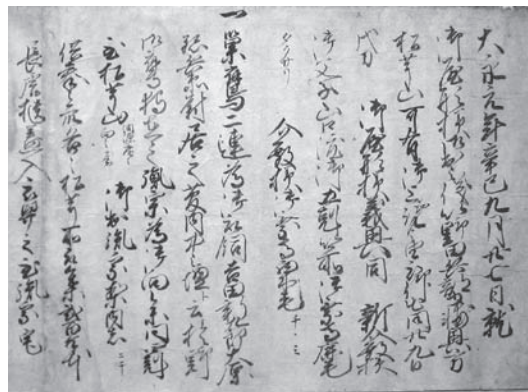
「産物帳」の成立

享保20（1735）年から数年をかけて、幕府の医師丹羽正伯は全国の動植物や鉱石についての実態調査を行うため、各藩に命じて「産物帳」ならびに彩色した「絵図註書」を作成させました。提出された「産物帳」そのものは現存していませんが、当館には防長両国の産物帳作成に関する史料が数多く残されています。



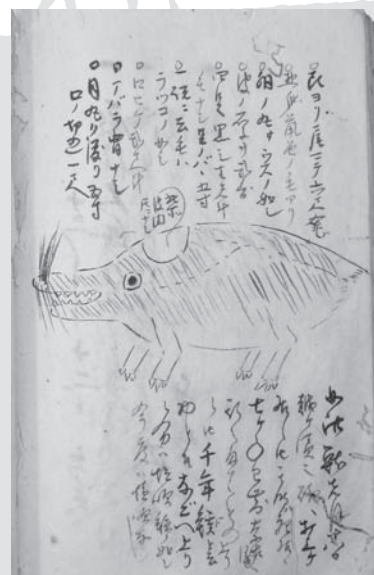
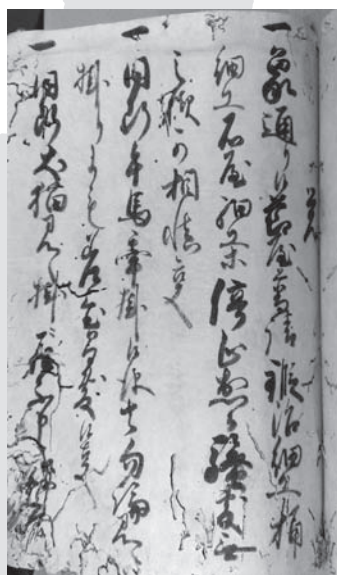
大内氏の鷹狩

大永元（1521）年9月に、大内義興が嫡子義隆を伴って、鷹狩りと松茸狩りに出かけた際の記録です（「大内義興父子遊山書留」藤岡家文書1）。鷹狩りは、中世の武将たちの間でたいへんに人気がありました。中世領主の鷹狩りの記録として、たいへんに珍しい史料です。



萩藩と鶴

鶴は特別な鳥として贈答や観賞に用いられました。萩城内においても飼養されていました。山口県には、江戸時代、ナベヅルだけでなく、丹頂・真鶴なども飛来していた記録があります。左は、昭和戦前期の八代（周南市）の鶴の写真（広報課大型写真307）です。

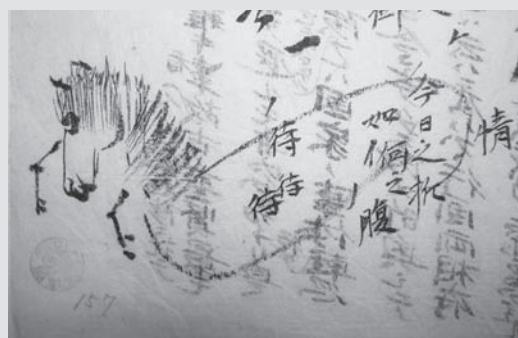


象がやってきた

享保13（1728）年6月、將軍徳川吉宗が発注した象が長崎に到着し、翌年3月から陸路で江戸に向かいました。象は3月25日に下関に上陸して山陽道を進み、4月2日に徳山の象小屋に泊まりました（「御書出控」徳山毛利家文庫 御書出控7）。

「密局日乗」

「密局日乗」は、藩政後期に作成された萩藩密用方（藩の歴史や先例調査を担当した役所）の日記です（全129冊）。この中には、藩内で目撃されたり、噂になった珍しい動物、怪奇な動物に関する記事が数多くあります。



じゃじゃ馬！ 吉田松陰関係資料

吉田松陰関係資料157「意見書文案」の裏面に、躍動的な馬のイラストがあります。誰が描いたのかは判然としませんが、放れ駒のように幕末を駆け抜けた吉田松陰を隠喩しているかのようです。

いずれも当日受付、先着順 / 参加無料です。

アーカイブズ展示

〈文書館閲覧室〉

「書庫に棲む動物たち」

記録と伝承の中に棲む動物たちを紹介します。
書庫の眠りから覚めた彼らをごらんください。

6月6日(土)・7日(日) 9:00～17:00

文書館書庫見学ツアー

文書館書庫を特別公開します。
大量の文書群に感動間違いなし!

6月2日(火)～4日(木) 10:30/14:30

5日(金) 9:30/14:30

6日(土)・7日(日) 9:30

定員
各10名

ギャラリートーク

〈文書館閲覧室〉

文書館専門研究員が展示解説を行います。

6月6日(土)・7日(日)

10:30 / 16:00

定員
各30名

文書館を使ってみよう!

〈県立山口図書館第1研修室・文書館閲覧室〉

文書館の利用方法をガイドします。

6月5日(金) 10:30～12:00

定員
30名

歴史探究講座

〈県立山口図書館レクチャールーム〉

「歴史の中の動物たち」

文書館資料から人と動物の関わりを探ります。
講師／文書館専門研究員 他

6月6日(土) 13:30～15:30

定員
250名

アーカイブズ歴史小話

〈県立山口図書館レクチャールーム〉

文書館専門研究員がアーカイブズについての
「ちょっといい話」をリレー形式で紹介します。

6月7日(日) 13:30～15:30

定員
250名

◎第10回 中国四国地区アーカイブズウィーク日程

	6月2日(火)	6月3日(水)	6月4日(木)	6月5日(金)	6月6日(土)	6月7日(日)
アーカイブズ 展示					● 9:00～17:00	● 9:00～17:00
ギャラリー トーク					● 10:30/16:00	● 10:30/16:00
歴史探究 講座					● 13:30～15:30	
文書館書庫 見学ツアー	● 10:30/14:30	● 10:30/14:30	● 10:30/14:30	● 9:30/14:30	● 9:30	● 9:30
文書館を 使ってみよう!				● 10:30～12:00		
アーカイブズ 歴史小話						● 13:30～15:30

第10回 中国四国地区アーカイブズウィーク

◎ウィークの期間中、閲覧業務は通常どおり行います。
(但し、6月6日(土)、7日(日)を除く)

アーカイブズウィークとは、「公文書館法」の施行(昭和63年6月1日)を記念し、
文書館の業務に対する理解を広め、アーカイブズ(記録資料)の保存・活用を促進
するPR事業です。期間中、中国四国地区の文書館施設で様々な行事を行います。

山口県文書館

〒753-0083 山口市後河原150-1
TEL(083)924-2116 FAX(083)924-2117
<http://ymonjo.ysn21.jp/>

